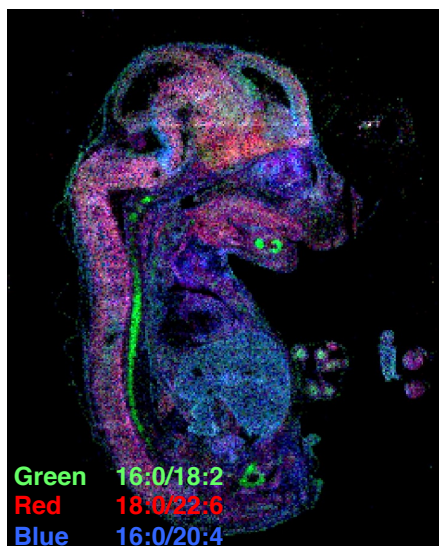


リン脂質のイメージング技術

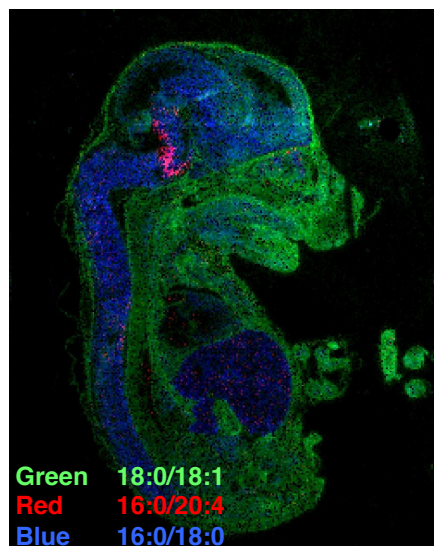


TOHOKU
UNIVERSITY

ホスファチジルエタノールアミン
(PE)



ホスファチジルセリン
(PS)



- 質量顕微鏡技術を用いると生体内物質の個体・組織内分布を組織切片上で可視化・イメージングすることが可能である
- イオン化の効率、組織内含量等を考慮すると、現時点で、リン脂質は最適な対象である
- 本技術はあらゆる生物に適用可能であり、特殊なプローブも必要としない
- 数万種のリン脂質分子種のイメージングが可能

マウス胎児全体のリン脂質イメージングの例
ホスファチジルエタノールアミン (PE)、ホスファチジルセリン (PS) の分子種が異なったパターンで胎児内に存在していることがわかる

開発・推進

東北大学大学院薬学研究科 分子細胞生化学分野

参考資料等

リン脂質のイメージング、可野邦行、青木淳賢
医学のあゆみ 262巻5号496-500 (2017)